

広町緑地・森の会：令和5年
作業報告書 2023年
1月8日・(日)
樵初め



峯山植栽桜

- * 晴れ100%の暖かな、森の会の初作業は恒例の「樵初め」、9時30分に広場でミーティング。全員で伐木方法の図、受け口は径の2/3を水平伐りと45度の斜め伐りで三角形材伐り、そして径の1/10までの追口伐りを記憶。森の会の**実り=収穫**・10年の育林でのオニシバリ台地を見事なサクラ林に創生の喜び
- * 作業用具：枝打ち鋸・間伐鋸・ロープ・ロープ吊り上げ棒・伐木腰袋(重量ハンマー・楔2・チョーク)・巻尺
- * 全員ヘルメット着帽で、小竹ヶ谷入り口の圃場へ。*私どもに必要な不可欠な酸素の生産者であり供給者である広町の**森・緑**に感謝、そして2023年の作業の安全祈願、お神酒をコナラ木にゆっくり丁寧に**灌ぎ**、そして全員で乾杯の樵初めの式を挙行
- * 昨年末に圃場拡張のために胸高直径18cmを選木。伐倒方向・ロープかけの下準備をしたコナラを実視。広葉樹のため二本の幹枝の張り具合により、重心方向(木が倒れたい方向)確認、かかり木の有無を確認し伐倒方向を決定。重心よりずれて伐倒するためロープを吊り上げてかけ、隣接するクスギで約90度曲げてロープを張る。チョークで水平1/3をしるし、そして45度の曲線かき。
- * 全員交代で径の1/3までを枝打ち鋸で伐り、次に45度の頂点を水平に少し伐り、斜め伐りをするが木の小さなうろ的なへこみのために、描いた線通りに伐るのは幾分に難しかったが△材を伐り取る
- * 開園で来園者が急増で、伐木前に道の両側にコーン、そして追いで会員を配置してから追口伐り。追口も交代で伐り、最後は酒井が鋸を入れる。1/10のツル幅を残したが、楔を打ち込まずに倒伏。張っていたロープを引っ張ったが、伐倒方向より2m程ずれてしまう。やはり時間はかかるが、追い伐りは径の2/10で止め、楔を使い、ロープを引きの強さで方向をより正確にすることを実感した
- * 樵初め・会員が岩手県名物紅白かもめの玉子や真っ白な小さなお饅頭などを持ち寄り、暖かな陽だまりの中での給水タイム、和みの時間。小さな子と親御さんが伐倒を最後まで興味を持って観覧
- * 参加者：詫摩・望月・本田・中田・石井・柴田・酒井 *次回作業：1/22・2023年度予定・予算・管理棟



受け口△



伐倒方向決めのロープ引き

2023.01.08



ツル幅



45度斜め伐り

